

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	角館病院給食業務			
担 当 課 係 名	総務企画課	課	総務	係 作成者 富木弘一
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	すべての生命を慈しむ健康福祉のまち		総合計画の ページ
	基本計画	地域医療、救急医療体制の整備		
	主要施策	地域医療連携の強化		48
予 算 費 目	病院事業	会計	款	項 目
事 業 期 間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度		新規 / 継続の区分	毎年度
性 質 区 分	☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理			
根 拠 法 令 等	地方公営企業法、医療法			
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務			
運 営 方 法	☐ 直 営 ☒ 直営（一部民間委託） ☒ 民間委託(全部) ☐ 補 助			

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	病院の給食業務の委託化
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	病院給食業務の経費削減と、委託化の推進
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	病院の給食業務の委託化

【事務事業の推移】

	項 目	単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	月額管理費	円	3,619,350	3,619,350
		食材単価（1食当たり）	円	196	196
	成果指標				
投下コスト	項 目	総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)		1,598,181	1,587,670	
	財源内訳	国 庫 支 出 金			
		県 支 出 金			
		地 方 債			
		そ の 他	284,843	299,006	
		一 般 財 源	1,313,338	1,288,664	
	人 件 費 (B)		—	2,562,387	2,606,000
		職 員 数	—	2.0	2.0
		職 員 平 均 人 件 費	—	7,853	8,071
	(A) + (B) 投下コスト		—	4,160,568	4,193,670
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		
	市民1人当たりのコスト(円)		—	130,470	133,578

【事務事業の今までの成果】

委託化により人事管理（調理員）及び食材の発注業務を委託先が行うことにより、病院の栄養科職員は管理栄養士だけとなった。委託料については管理費（人件費）と食材費に分けて契約しており、食材単価は毎年実績金額を確認して契約している

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	医療費の抑制、国は医師不足等に伴う自治体病院の経営悪化に対し、公立病院等経営改革推進計画の策定を行うよう通達
事業に対する市民の意見 （事業に対する期待、要望、苦情等）	

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
A	A	現状のまま継続（実施）	現在の委託業者は食品の安全管理、職員の指導等的確に業務を遂行していることから引き続き事業の継続は必要である。契約内容については入院患者の変動、物価の変動、医療費改定等を見据え委託金額、食材単価は毎年見直しを行う必要がある。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

委託後3年を目処に委託業者について再検討することになっていたが、平成20年度は実績評価により現業者と委託契約を契約した。食材単価は、物価の変動や入院患者数の変動等を考慮し、毎年見直しを行う事とする。今後院内評価を行い、契約内容と単価について検討する事としている

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	給食業務は民間委託されており、引き続き事業の推進は必要と考える。今後は、物価の変動や入院患者数の変動等を考慮し、契約内容と単価について検討する必要があると考える。

一次評価診断図

